

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	48	認知症の進行により、日常生活での役割を持つことが難しくなっている。	日常生活の中で出来る役割の支援	個々のADLを理解したうえで、残存機能を活かし、家事など役割を持つことで、生活に充実感をもてるように支援していく。 ①料理やおやつ作り ②洗濯物干しや洗濯たみ ③掃除 ④ラジオ体操 ④生け花など	12ヶ月
2	49	年々重度化していく中で、施設にこもりがちになる可能性がある為、外出支援が必要である。	地域への外出支援	地域の一員として、地域への外出支援を行う。 ①なじみの美容院へ行く ②ふれあいサロンへの参加 ③地域との交流に参加 ④買い物 など	12ヶ月
3	26 27	計画書に沿った実施記録とアセスメント	計画書に沿った実施状況を把握し、アセスメントを行う。	①勉強会の開催 ②個別利用者担当が実施状況を把握できるように工夫する。 ③改善や新たな課題を抽出する。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。